

ベネッセファミリー

Benesse Family

Vol.45



第58期上半期 株主通信

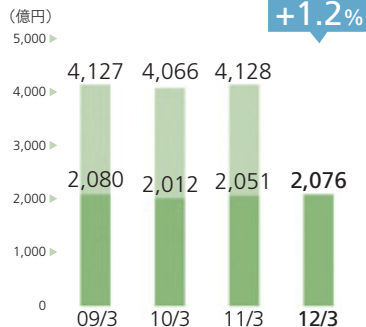
2011年4月1日～2011年9月30日 [証券コード: 9783]

株式会社 **ベネッセホールディングス**

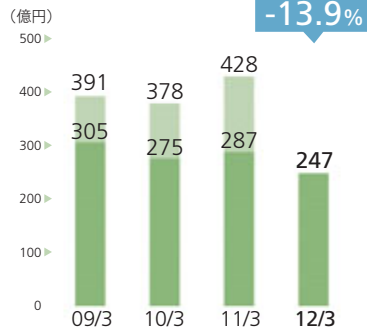
<http://www.benesse-hd.co.jp/>

連結業績ハイライト

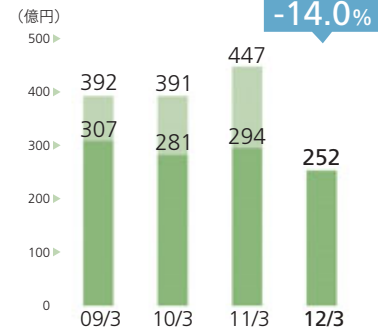
売上高



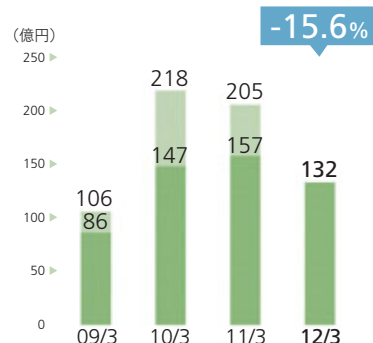
営業利益



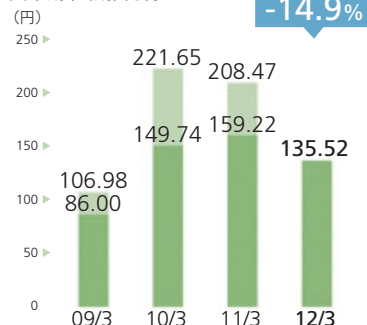
経常利益



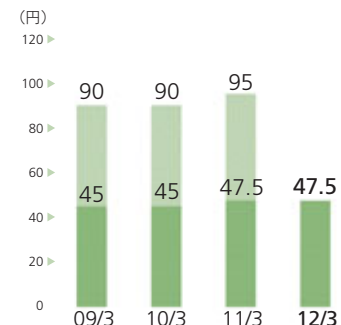
四半期(当期)純利益



1株当たり 四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



2012年3月期の連結業績予想

売上高は、東日本大震災の影響による主力の国内通信教育講座の会員数減少等に伴う減収があるものの、高齢者向け生活ホーム事業の拡大、留学支援事業の好調、及び語学レッスン数の増加等により、増収を予想しています。

また、利益面では、高齢者向け生活ホーム事業等の増収による増益があるものの、国内通信教育講座の会員数減少を含め、東日本大震災の影響に伴う一時的な費用の増加、及び国内教育事業の販売費の増加、新講座開講に伴う費用等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに減益を予想しています。

連結業績予想

	連結業績予想 (億円)		
	11/3	12/3(予)	前期比増減率
売上高	4,128	4,219	+2.2%
営業利益	428	338	-21.2%
経常利益	447	343	-23.3%
当期純利益	205	183	-11.1%
1株当たり 当期純利益 (円)	208.47	188.25	-9.7%

株主の皆様へ



福原 賢一

代表取締役副社長兼CFO

福武 総一郎

取締役会長

福島 保

代表取締役社長

内永 ゆか子

取締役副社長
ベルリッツ コーポレーション CEO

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期の売上高は、シニア・介護事業領域において、高齢者向け生活ホーム数を拡大し、入居者数が増加したこと、語学・グローバル人材教育事業領域において、ベルリッツ コーポレーションがELS事業(留学支援事業)の増収やレッスン数の増加により売上を伸ばしたこと等により、増収となりました。一方で、国内教育事業領域における、東日本大震災の影響による通信教育講座の延べ在籍数の減少や(株)東京個別指導学院の生徒数の減少、及び生活事業領域における雑誌の休刊等に伴う減収がありました。

営業利益は、シニア・介護事業領域及び、語学・グローバル人材教育事業領域での増収に伴う増益があるものの、国内教育事業領域における減収に伴う減益に加え、販売費の増加、及び「進研ゼミ高校講座」の新講座開講に伴う費用の発生等により減益となり、経常利益、四半期純利益も減益となりました。

当社は、2013年3月期を初年度とする5カ年の新中期経営計画を策定しました。目標達成に向けてグループ一丸となって成長戦略を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年12月

株主還元について 当社グループは、株主の皆様への積極的な利益還元に努めています。

配当について

- 配当性向(配当金支払額÷当期純利益)
35%以上を目処に継続的な利益還元に努めます
- 1株当たり年間配当金(配当性向)
2010年3月期 : 90円 (40.6%)
2011年3月期 : 95円 (45.6%)
2012年3月期(予) : 95円 (50.5%)

自己株式について

- 自己株式取得枠の設定: 280万株、100億円を上限(2011年5月23日~2012年3月31日)
→155万株、53億円を取得(2011年9月30日現在)
- 自己株式保有方針: 発行済株式総数の5%超過分は原則每期消却
→220万株の自己株式を消却(2011年6月30日)

新中期経営計画を策定

当社は、2013年3月期を初年度とする5カ年の新中期経営計画を策定しました。国内の少子高齢化や、新興国の経済成長が進む中、既存事業で確実に利益を確保すると同時に、グローバルな事業展開の加速と、新規事業の拡大により、さらなる成長を目指してまいります。

ベネッセグループ成長ビジョン

「教育(=人づくり)」と「社会的課題の解決」に取り組む企業として

- ① 世界の育児と教育、人材育成をサポートする「**教育事業分野で世界No.1企業**」を目指します
- ② さまざまな高齢化の問題解決のため、「**介護関連事業を重要な成長分野と位置づけ、さらなる成長**」を目指します

目標数値

2017年3月期 売上高6,000億円、営業利益率10%

- ▶ 既存事業で確実に利益を確保し、グローバル展開と新規事業拡大に配分します
- ▶ グローバル展開の加速により、海外売上高比率25%を目指します

(単位:億円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 見通し	2017年3月期 目標
売上高	4,128	4,219	6,000
営業利益	428	338	600
海外売上高比率	11.7%	12.8%	25.0%
ROE	11.3%	9.8%	12%以上

重点実行項目及び事業別戦略

「教育・育児」「語学・グローバル人材教育」「シニア・介護」の領域で、成長戦略を推進します。

グローバルな 事業展開の加速

<海外教育事業領域>

- ▶ こどもちゃれんじ事業のグローバル展開強化
- ▶ 中国での新規事業の開拓
- ▶ 海外先進企業との提携・出資等

<語学・グローバル人材教育事業領域>

- ▶ 企業向け語学・グローバル人材教育事業の強化
- ▶ 新興市場の拡大
- ▶ ELS事業(留学支援事業)の強化

国内の教育・育児 事業の強化・拡大

<国内教育事業領域>

- ▶ 進研ゼミの次世代化
- ▶ 英語事業の強化
- ▶ 塾・教室を使ったサービスの拡大

<生活事業領域>

- ▶ 妊娠・出産・育児事業分野への集中・強化
- ▶ 通信販売事業のビジネスモデル転換(eマーケットプレイス)

シニア・介護 事業の拡大

<シニア・介護事業領域>

- ▶ 既存事業の着実な成長
- ▶ 対象市場の拡大
- ▶ 事業領域の拡大

資本政策

成長に必要な事業投資と株主還元を引き続き積極的に行います。

- ① 配当
 - ▶ 目標配当性向35%以上
- ② 自己株式取得
 - ▶ 市場動向を見ながら自己株式を取得
 - ▶ 発行済株式総数の5%超過分は原則每期消却
- ③ 事業投資・M&A
 - ▶ 事業投資：中長期的な成長への投資、基盤投資等
 - ▶ M&A：事業領域ごとに自立的な成長を目指して積極的に実施

→詳細 「2012年3月期 第2四半期決算説明会資料」の「2012-2016年度 新中期経営計画」をご覧ください。

URL： <http://www.benesse-hd.co.jp/ir/>

事業領域別の概況

国内教育

(株)ベネッセコーポレーション
 ▶「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」
 ▶「進研模試」

(株)東京個別指導学院 等
 ▶学習塾事業

事業別
売上構成比

55.1%

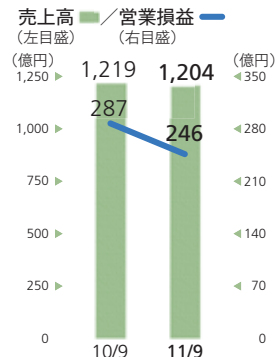


売上高 減収(-1.2%)

- ☐ 東日本大震災の影響により通信教育講座の延べ在籍数が減少
- ⊕ 学校向け教育事業が好調

営業損益 減益(-14.3%)

- ☐ 通信教育事業の減収に伴う減益
- ☐ 「進研ゼミ高校講座」の新講座開講に伴い費用が増加



海外教育

(株)ベネッセコーポレーション
 倍楽生商貿(中国)有限公司
 ベネッセ コリア
 ▶通信教育事業

事業別
売上構成比

2.4%

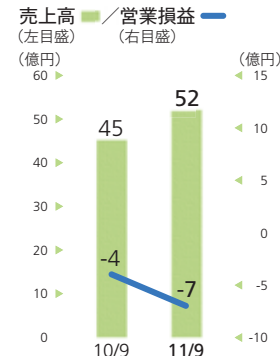


売上高 増収(+14.2%)

- ⊕ 通信教育講座の延べ在籍数が増加

営業損益 3億円の悪化

- ☐ 事業拡大のための先行費用が増加
- ⊕ 増収に伴う損益の改善



生活

(株)ベネッセコーポレーション
 ▶雑誌事業
 「たまごクラブ」「ひよこクラブ」
 ▶通信販売事業
 「たまひよSHOP」等

事業別
売上構成比

5.3%

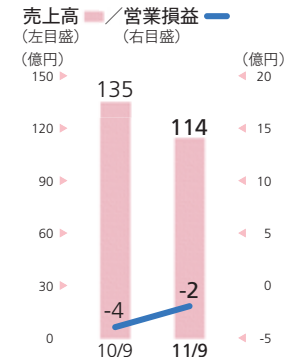


売上高 減収(-14.9%)

- ☐ 雑誌の休刊に伴う減収等

営業損益 2億円の改善

- ⊕ 通信販売事業のコスト削減等



注) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高が含まれています。

シニア・介護

(株)ベネッセスタイルケア
(株)ボンセジュール
▶ 高齢者向け生活ホーム

事業別
売上構成比

14.7%

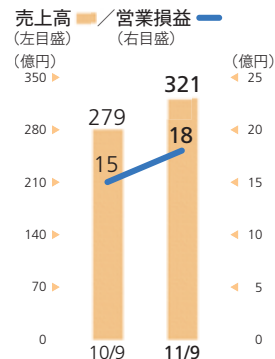


売上高 増収(+14.9%)

⊕ 高齢者向け生活ホーム数を拡大し、入居者数が増加

営業損益 増益(+19.6%)

⊕ 増収に伴う増益



語学・グローバル人材教育

ベルリッツ コーポレーション

▶ 語学教育事業
▶ 留学支援事業

(株)サイマル・インターナショナル
▶ 通訳・翻訳事業

事業別
売上構成比

12.9%



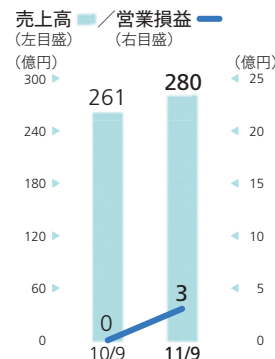
売上高 増収(+7.2%)

⊕ ベルリッツ コーポレーションのELS事業(留学支援事業)が好調

☐ 円高の影響

営業損益 増益(+309.5%)

⊕ 増収に伴う増益



その他

(株)テレマーケティングジャパン
▶ テレマーケティング事業

(株)シンフォーム
▶ コンピュータ情報処理
サービス事業

事業別
売上構成比

9.6%

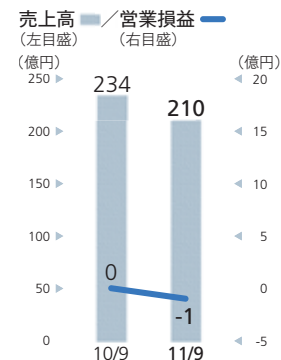


売上高 減収(-10.2%)

☐ (株)シンフォームの一部事業を移転

営業損益 1億円の悪化

☐ (株)シンフォームの減収に伴う損益の悪化等



トピックス

進研ゼミ小学講座「チャレンジ4年生」に、 新デジタル教材が登場

進研ゼミ小学講座「チャレンジ4年生」の2012年4月号からオリジナルのデジタル教材「ポケットチャレンジ」が登場します。テキストにいつ取り組めばよいかをお知らせする「チャレンジナビ」や、テキストや付録と連動した動画が見られる「動くチャレンジ」、漢字や計算をゲーム感覚で楽しく繰り返し学習できる「漢字計算マスター」など豊富なコンテンツで、1年間、お子様の学習を応援します。



「ポケットチャレンジ」

ベルリッツ コーポレーションが フランスのテレラング社を子会社化

テレラング社(本社：フランス)は、多くのグローバル企業を対象に、電話によるレッスンやeラーニング(自習教材)等、遠隔での語学教育サービスを提供しており、8月にベルリッツの100%子会社となりました。

ベルリッツは、対面型の授業に加え、電話レッスンやeラーニングによる語学教育を拡充することにより、グローバル化する企業のニーズに総合的に応える体制を強化します。対面型に加えて、柔軟かつより低価格のサービス提供が可能になることから、より幅広いお客様へのサービス提供や、新興国などでの事業展開の加速を図ります。

カゴメと共同開発 ごくごく飲める幼児向け野菜飲料 「すくすくやさい」を発売

幼児期の「食」を、楽しく豊かな体験にすることを願って、カゴメ(株)と、安心してお子様に与えられる幼児向け野菜飲料を開発し、9月に発売しました。



「すくすくやさい やさい100%」

「すくすくやさい ぶどう味」

「ベネッセ★子ども参観日」を実施

8月に岡山本社にて、ベネッセグループ従業員の子どもを対象に、子どもたちが保護者の職場を見学する子ども参観日を実施し、23名の小学生が参加しました。



保護者の職場見学

社長との名刺交換



ベネッセがダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスの構成銘柄に、7年連続で採用されました

本インデックスは、米国ダウ・ジョーンズ社とスイスのSAM社によって共同開発された世界的に有名なSRIインデックス*で、将来にわたって持続的成長が見込まれる企業を毎年選出しています。今年は世界の大企業2,500社を対象に342社(うち日本企業25社)が選ばれました。



*SRIインデックス: 企業の財務面に加え、法令遵守や雇用問題、人権問題、消費者対応、社会や地域への貢献などの社会・倫理面および環境面を重要な判断要素とする社会的責任投資の指標

アニュアルレポート2011が完成

特集では、「自ら起こすパラダイムシフト」と題して、時代が大きく変化する中、ビジネスモデルを進化させ、さらなる成長を目指すベネッセの姿を紹介しています。また、今年度から新たに始めたオンラインアニュアルレポートでは、オンラインだけの特別映像もご覧いただけます。<http://www.benesse-hd.co.jp/ja/ir/ar2011/>



東日本大震災に対するベネッセグループの支援活動

ベネッセグループでは、「こどもの未来応援プロジェクト」などを通じ、被災地支援に継続的に取り組んでいます。

こどもの未来応援プロジェクト
Challenge for the future.

● しまじろうの被災地慰問活動

被災地の子どもたちへの慰問活動として、4月から8月までに33カ所で計42回しまじろうイベントを開催し、1万人以上の方々にご参加いただきました。



● ベネッセ通信教育奨学制度

ご両親を亡くされた日本全国の0歳から高校3年生までのお子様へ、ベネッセの通信教育サービスを無償でお届けする制度を新設しました。

● NPOを通じた「進研ゼミ」の教材提供支援

被災地の児童・生徒の学びを支援している「女川向学館(NPO法人カタリバ主催)」と「希望のゼミ(NPO法人フローレンス主催)」を通じ、「進研ゼミ」の無償提供を行っています。

「個人投資家の皆様へ」をリニューアルしました！

当社IRサイトの「個人投資家の皆様へ」のコーナーをリニューアルしました。身近にあるベネッセの商品・サービスをクイズ形式でご紹介する「あなたのまわりのベネッセ」や、投資家の皆様に必要な内容をコンパクトにまとめた「ベネッセ早わかり」等、ベネッセをご理解いただくうえで役立つ様々な情報を掲載しています。是非ご覧ください！

<http://www.benesse-hd.co.jp/ir/>

ベネッセ IR

検索

➡ 「個人投資家の皆様へ」のコーナーです。



あなたのまわりのベネッセ

～「個人投資家の皆様へ」より～



高校の勉強って難しい！
大好きな部活と両立させるよい方法はないかなあ…。

Point!

「進研ゼミ」なら、部活等で忙しくても、苦手な教科や単元に短時間で集中して取り組みます。高1講座では、従来の紙の教材に、パソコンやモバイルを組み合わせ、隙間時間の活用と学習へのやる気を応援します。

Q1.

「進研ゼミ」って、全国でどれくらいの人が使っているのかな？

① 約5% ② 約10% ③ 約20%



生徒から進路相談を受けた。
もっと踏み込んだアドバイスをしたいなあ…。

Point!

ベネッセでは、全国の高校向けに、大学入試模擬試験「進研模試」に加え、「スタディーサポート」「進路マップ」等の学習・進路指導教材を提供。先生をサポートしています。

Q2.

日本全国どのくらいの高校が、ベネッセのテストや教材を利用しているのかな？

① 20% ② 50% ③ 90%

A1. ①約20% ②約50% ③約90% ベネッセの通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」の会員数は、日本の0～18才人口の約20%にあたり、A2. ①90% ②90% ベネッセのテストや教材を採用した高校は4,621校にのぼります。(2011年3月期)

【上のクイズの答え】

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号	株式会社ベネッセホールディングス (英文表記) Benesse Holdings, Inc.
本社所在地	〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号
創業	1955年1月28日
資本金	136億円
従業員の状況	連結従業員数 18,187名 (注)このほか臨時従業員として1,360名(期中平均)がいます。

取締役・監査役

取締役会長	福武 総一郎
代表取締役社長	福島 保
代表取締役副社長兼CFO	福原 賢一
取締役副社長	内永 ゆか子
取締役*	村上 輝康
取締役*	安達 保
取締役*	三谷 宏幸
常勤監査役	松本 芳範
常勤監査役	桜木 君枝
監査役**	和田 朝治
監査役**	高橋 伸子

* は社外取締役です。
**は社外監査役です。

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行済株式の総数 104,153,453株

株主数 38,693名

大株主

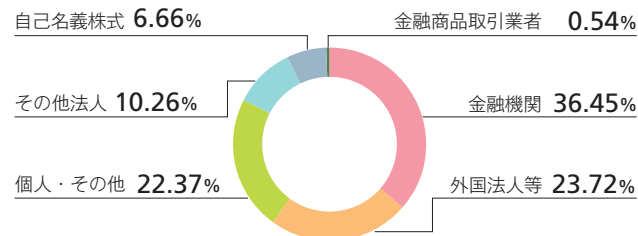
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社	14,389	14.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	9,414	9.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,437	4.56
財団法人直島福武美術館財団	3,090	3.17
株式会社中国銀行	2,787	2.86
福武信子	2,769	2.84
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,179	2.24
福武純子	2,155	2.21
福武美津子	2,075	2.13
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,874	1.92

(注1) 野村信託銀行株式会社の持株数には、福武総一郎氏及び福武れい子氏が全額出資し、福武総一郎氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるイーエフコー インベストメント リミテッドが信託財産として拠出している株式13,618千株(持株比率14.00%)が含まれています。

(注2) 株式会社中国銀行は、上記のほかに当社株式1,600千株(持株比率1.64%)を議決権を留保した退職給付信託として信託設定しています。

(注3) 当社は自己株式6,940千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777 〈通話料無料〉 土日祝日を除く平日9:00～17:00
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.benese-hd.co.jp/
※ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部

株式事務のお取り扱い

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

本誌に関するお問い合わせ先／広報・IR部(東京本部)
〒206-0033 東京都多摩市落合1-34
TEL: 042-356-0121 (代表)

株式・配当に関するお問い合わせ先／広報・IR部(岡山本社)
〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17
TEL: 086-225-1165 (代表)

表紙写真



てしま
豊島美術館(香川県)
アート: 内藤礼「母型」
建築: 西沢立衛
写真: 森川昇

「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、(株)ベネッセホールディングス、(財)直島福武美術館財団が展開しているアート活動の総称です。

日本の原風景ともいえる瀬戸内の自然や、地域固有の文化の中に、その場所にしかない現代アートや建築を作り上げていく活動を行っています。

ベネッセアートサイト直島
<http://www.benese-artsite.jp/>